

議題(1)第5期福生市地域福祉計画進捗状況	市の回答
<p>全体的に計画は進んでいるように思います。 書きにくいとは思いますが、国や都に対する要望で、福祉サービス充実のために支援、手当、助成等の充実の要請は、どのような内容の充実や支援、手当や助成を要望したのか触れると良いかと思われま。</p>	<p>【社会福祉課】 資料1-2(23頁)No.9国・都への要請について、各課に要望内容を次のとおり確認しました。</p> <p>【障害福祉課】 26市で、福祉人材確保、重度訪問介護、日中活動系サービス、医療的ケアを要する重症心身障害者(児)を対象とする短期入所・児童発達支援・放課後等デイサービス、相談支援、地域生活支援拠点、第三者評価、指導検査、高次脳機能障害、余暇活動、差別解消、発達障害、難病、雇用などに関する要望をしております。</p> <p>【子ども育成課】 手当、助成等について要請は、東京都予算編成に対して市長会要望を行いました。</p> <p><要望内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の医療制度として乳幼児及び義務教育就学児医療費助成制度を創設する必要がある。 ・義務教育就学児医療費助成事業について、区部が所得制限を撤廃している状況に対して、市部では19市が所得制限を設けており、同じ都民でありながら、地域間格差が生じている。この事実を鑑み、東京都に暮らす子どもに等しく福祉がいきわたるよう、都制度による所得制限の撤廃、補助率の引き上げ等を検討すること。 ・ひとり親家庭等医療費助成事業について、ひとり親家庭等への支援の充実という観点から、申請者及び扶養義務者の住民税の課税額に有無による負担割合の区分を見直すこと。
<p>資料1-2(27頁)No.5生きがい活動支援デイサービス事業の中に「サービス内容の充実を図ります」とありますが、具体的にどのように内容を考えているのでしょうか。</p>	<p>【介護福祉課】 高齢者生きがい活動支援デイサービス田園で利用者のニーズに応じ「カフェタイムドライブ」(午後からドライブに出かけ、喫茶店に寄る企画)やバー体操を開始しました。</p>
<p>実施率が高く、計画の進捗状況がよく分かりました。</p>	

議題(1)第5期福生市地域福祉計画進捗状況	市の回答
<p>各町会・自治会に対し活動補助金や活性化交付金を交付しておりますが、今年度はコロナ禍により活動がほとんど停止状態です。活動がない以上補助金や交付金はまったく支給されないのでしょうか？それとも名称や形を変えて交付されることもあるのでしょうか？</p>	<p>【社会福祉課・協働推進課】 町会活動補助金は行政連絡事項の周知や町会の運営に対して交付する補助金であり、地域活性化交付金は町会・自治会が行う各種事業に対して交付する交付金です。町会活動補助金及び地域活性化交付金ともに、8月中旬に各町会・自治会に対して交付しました。 特に地域活性化交付金につきましては各種事業に係る経費が交付対象となることから、年度末の実績報告の段階で経費が交付額に達していないと返還となる可能性があります。新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限される状況においても、できる限り各種事業が実施されるように各町会・自治会の活動を支援していきます。</p>
<p>13頁、No.9建築物の整備(教育総務課)で第三小学校及び第六小学校の「だれでもトイレ」は車イスでも入れる面積の広いトイレのことですか？それとも一般の人が通りがかりに入れるトイレですか？(校舎内にあるトイレでしたら、一般は不可と思いながら質問してみました)</p>	<p>【社会福祉課・教育総務課】 第三小学校及び第六小学校の校舎内に車椅子でも利用可能な「だれでもトイレ」を設置しました。校舎内に設置されているトイレなので、原則として一般人は使用することができません。</p>
<p>特になし。少しでも早く地域福祉推進委員会が開催できるようになることを願っています。事務局の方も身体を自愛ください。</p>	
<p>本計画の進捗状況については意見ありませんが、一部、with corona の状況を勘案して、人が集まる施策については、リモートが可能か、小規模な実施にするなど検討の必要があるということを明示した方が良いと思います(事後コロナでできなかったではなく)。どうもコロナに関しては、積極的に細かなことでも動いた方(見える化)が良いと思っています。</p>	<p>【社会福祉課】 御意見のとおり、感染症対策と経済活動を両立させるwithコロナの困難な局面にあると言えます。現在は福生市新型コロナウイルスによる感染症対策方針に則り、事業や施策を実施しており、今後においても積極的に発信するなど、見える化に努めていきます。</p>
<p>基本目標2(1)2 健康づくりの推進 福生の体操をあきる野のイオンモールで拝見させていただきました。椅子に座ってできたり、音楽や動きも良くできていると思いました。小地域活動や市の出前講座など人の集まることがあれば、アイスブレイクとして体操を活用して市内に浸透していけばと感じます。せっかく良いものができたのに、あまり周知されていないのは残念です。</p>	<p>【社会福祉課・健康課】 基本目標2(1)2 (資料1-2 6頁No.2)健康づくりの推進では、「健康ふっさ21(第2次)」計画に基づき、福生市健康づくり推進員の皆さんによるラジオ体操プロジェクトを実施し、平成31年4月にラジオ体操動画をHP等で公開しております。 【介護福祉課】 委員が御指摘の「ふくふく福生体操」は介護予防活動を推進するためのツールとして作成した福生市オリジナルの介護予防体操です。平成31年3月に体操のお披露目を行い、令和元年度は介護予防リーダーと地域に向いた色々なイベントでこの体操を始めていました。コロナ禍の現在は多摩ケーブルなどのメディアやHPなどを活用し周知を試みています。こんな時こそ、介護予防のために体操を活用していただけるように、介護予防リーダーと企画しています。</p>

議題(2)第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況	市の回答
<p>計画に基づいて進行していると思います。 バリアフリーマップについては、車いす利用市民団体が以前作成しましたが、行政でも障害者の目線で再度作成知の必要があると思います。その際は肢体障害に加えて視力、聴力障害にも配慮したマップになると良いと思います。</p>	<p>【社会福祉課】 バリアフリーマップは2011年と2016年に市民活動団体の「バリアフリー2001」が「バリアフリーなおでかけマップ」を作成しています。2011年版は市内の公共施設や店舗を含めたマップで、2016年版は視覚障害者向けに作成したもので、市内の公共施設や交通機関についての情報が記載されていて、SPコードも挿入してます。 マップの作成時期は、現在のところ未定ですが、改めて、バリアフリーマップを作成する際には、様々な関係機関や市民団体と連携し、様々な方に配慮したマップとなるように検討していきたいと考えています。</p>
<p>4都市公園の使用について コロナ禍にて使用中止はまずいですよ。児童には開放すべきだと思います。管理は色々と考えられますよ。教育委員会と共に配慮できませんか？</p>	<p>【社会福祉課・施設公園課】 令和2年4月上旬からの国の緊急事態宣言中の期間は、福生公園と日光橋公園の大型遊具のみを使用中止しましたが、その後中止は解除し、感染症対策の注意喚起するための貼り紙や看板を設置しています。</p>
<p>トイレの整備にあたり、現在コロナ禍の中、衛生管理対策についてお伺いしたい。</p>	<p>【社会福祉課・施設公園課・環境課】 公衆トイレについては、新型コロナウイルス感染症以前より衛生管理として定期的な清掃と便器等の消毒を行っております。</p>
<p>「市の建築物」で“D”評価が多いのはなぜでしょうか？</p>	<p>【社会福祉課】 分野別3の、市の建築物、「主な整備方策」で、D評価(未実施)が4件ありました。(No.1)敷地内通路の整備、(No.5)標示・誘導の改善、(No.6)出入口(主要な出入口)の整備、(No.7)エレベーターの整備、については、令和元年度は該当事業がありませんでした。これは各公共施設については、今後、施設をどのようにしていくのかを個別施設計画として今年度中にまとめる予定であり、その計画に基づき、対策を検討することになるためです。</p>
<p>先般、目の不自由な人が駅のホームから転落し死亡したというニュースがありました。ホームドアがない駅は大変危険です。福生市内の鉄道各駅にホームドアはありませんが、今後、設置への働きかけは考えられないでしょうか？</p>	<p>【社会福祉課・まちづくり計画課】 駅ホームからの転落対策として、ホームドアやホーム柵の設置が有効ですが、現時点において設置の働きかけや要望等は行っておりません。拝島駅の八高線ホームに社会実験としてホームドアが設置されております。内閣府HPによると、ホームドアの整備は「転落事故の約半数を占める利用者10万人/日以上駅を優先的に整備」と掲載されております。ホームドアの設置には、地元自治体の費用負担も多額になることや、列車によりドア位置が異なる等の物理的・技術的な課題が多くあるとの認識をしております。</p>

議題(2)第3期福生市バリアフリー推進計画進捗状況	市の回答
<p>・道路工事が多くみられ、サイン整備がなされ、大変ありがたいことです。 ・福生駅西口では多くの駐輪場を設置したことで、歩道駐輪がほとんど見ることがなくなりました。一時的に買物客が駐輪する場面を見ますが、ハッピータウンの3m位の間です。整備員の見守りがありますので、整頓されていて通行しやすくなっています。</p>	
<p>本計画の進捗状況については意見ありませんが、一部、バリアフリーマップについて意見させていただきます。現状では他の自治体の情報収集をされているとのことですが、そろそろ作成した方が良くと思っています。一般的なことです。車椅子で移動する方たちは、トイレや段差情報を、事前に調査するなど、苦労されているはず。コロナ禍、商業の今後はかなり厳しいと思っています。ぜひ商業振興とお店側の啓発を加味して、料理(エール飯を含む)の紹介を含めて、トイレ情報、段差情報、車椅子のスペース的な状況などをホームページ等で紹介(更新)するのが良いと思います。また周辺の散歩道も段差、車椅子の通行状況、高齢者の安全歩行情報も含めればなお良いと思います。</p>	<p>【社会福祉課】 バリアフリーマップは2011年と2016年に市民活動団体の「バリアフリー2001」が「バリアフリーなおでかけマップ」を作成しています。2011年版は市内の公共施設や店舗を含めたマップで、2016年版は視覚障害者向けに作成したもので、市内の公共施設や交通機関についての情報が記載されていて、SPコードも挿入しています。 マップの作成時期は、現在のところ未定ですが、改めて、バリアフリーマップを作成する際には、様々な関係機関や市民団体と連携し、様々な方に配慮したマップとなるように検討していきたいと考えています。</p>
<p>福生市のバリアフリーは前進していると感じます。実際に生活の場面の中で、側溝がグレーチングになっていたりすると嬉しく感じます。市役所内も職員の方の声掛けや手伝いなど、フレンドリーな心のバリアフリーも感じます。役所に関して欲を言わせてもらうなら、カーペットが車いすを動かすときにかなり重くなってしまいます。次回張替えの際には毛足の短いものなど、当事者にも意見をお聞きしてほしいです。</p>	<p>【社会福祉課・契約管財課】 平成20年に落成した福生市役所庁舎は、新庁舎建設に当たったの基本方針の一つに「ユニバーサルな利用を促す」も入っていましたが、全ての設備がユニバーサルデザインで完備させているわけではないため、場面によっては、職員の介助や移動の手助け等の心のバリアフリーも必要不可欠であると認識しております。 カーペット等の改修時には、是非とも車椅子利用者等の当事者にも御意見を伺う所存ですが、現状としては車椅子の介助をするなど、市職員による心のバリアフリーにて足りない部分を補っていきます。</p>

議題(3)福生市障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画進捗状況	市の回答
<p>計画に基づいて進んでいると思われます。 放課後等デイサービスの充実では、利用者は増加傾向です。市内の事業所の数や、サービス内容の把握はどうなっていますか？これらの施設は専門的知識とサービス内容が求められると思いますので、都の第三者評価受審も踏まえての評価が求められると思います。</p>	<p>【障害福祉課】 放課後等デイサービスにおける令和元年度の月平均利用者数は56人、市内事業所は6か所で定員合計は60人です。サービス内容は事業所によって様々で、集団遊び、体操、リズム遊び、音楽リトミック、農業体験、学習サポートなどを実施しております。また、第三者評価受審に関しましては、補助制度の対象にするよう26市で都へ要望しております。</p>
<p>行動援護の支給決定について 平成29年の段階で、支給決定のなかった(と承知している)「行動援護」が今回の報告で4件と出ています。 重度知的障害・精神障害のある方を地域で支える為に必要なサービスであり、日中の移動・社会参加に必須であることは勿論、入所施設からの地域移行についてもなくてはならないサービスであるので、この数字には光明を見出せます。 行動援護のサービスを実施できる事業所の開拓等、今後の課題もあるとは思いますが、地域福祉の推進に寄与する素晴らしい進捗だと思います。</p>	<p>【障害福祉課】 自己判断能力が制限されている方が、行動する時の危険を避けるための必要な支援及び外出支援を行う行動援護サービスの令和元年度の実利用者数は4人となっております。 引き続き必要な支援が行える体制を確保してまいります。</p>
<p>子育て世代包括支援センターの相談事業は就学支援にもつながり、御尽力いただいております。</p>	
<p>特別支援学級・支援教室の取組みは大変進んできていると思います。児童・生徒数が増えてきているようですが、前年、前々年と比較できる表があると良いです。</p>	<p>【障害福祉課・教育支援課】 児童・生徒数の年度比較につきましては、障害福祉計画に記載する性質のものか検討させていただきたいと思いますが、まずは別紙のとおりお示しいたします。</p>
<p>第1節 1相談体制・情報提供の充実～6地域の安全と災害時を想定した対応までの評価がほとんどA評価で、充実していることが分かります。 第2節の子どもに関しても、9頁No.6保育所等訪問支援の充実に関してはB評価で、周知ができていないことがあるようです。 小中学生関係は、各学校内に特別支援学級や教室もあり、子どもたちが安心して学べる体制が整っており、ふっさっ子の広場や一分室7組(不登校)がさくら会館内に開設され、支援クラスが増加し、子どもたちの学び方、選択肢が広がり、希望も膨らむことと思います。福生市の教育委員会すごい！！近隣の市より進んでいると思います。</p>	<p>【障害福祉課】 保育所等訪問支援に関しましては、広報、ホームページ、ガイドブック等で周知をしておりますが、利用がない状況でございます。理由といたしましては、福生市では従前より、臨床心理士等が市内の保育園、幼稚園、小・中学校等を巡回し相談支援を行っていることから、同様の支援が得られており、保育所等訪問支援の利用がないものと考えております。</p>
<p>特に進捗状況については意見ありません。ただ、障害者、障害児のみならず、コロナ禍にてどのような御苦労があるのか、何かの機会に聞いてみたいと思っています。</p>	<p>【障害福祉課】 コロナ禍においては全国民が様々な我慢や苦労をしていると思います。参考となる話しを聞くことができた際には、情報提供いただけたらと思います。</p>

議題(3)福生市障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画進捗状況	市の回答
<p>1-1-1. 子ども家庭支援課の総合相談が13599件。どのような内容が多かったのでしょうか。数字からも気軽に相談できる様子がわかり、子育てママの孤立化が少しでも解消できているのではないかと思います。これからも続けていただきたい。</p> <p>1-1-2. 3 障害児入浴サービス 2-1-6保育所等訪問支援 利用実績がなくB判定ですが、ニーズとしては小さいものです。きちんと計画として残してくれていることは福生の大きな財産だと思います。困ったときに対応できる体制はこれからも続けてほしい。A判定にしたい位です。</p> <p>4-1-1 日中一時支援を行っている場所が少なくキャパもない。4-2-1のGHに関しても知的障害や精神障害に対するGHはあっても、重度心身障害・医療ケアの必要な人が利用できるGHがない。介護の手間だけでなくスタッフの精神的重圧も大きいものがある事も設置に至らない要因。評価はAであるが、重心でも利用できるよう何らかの支援体制も必要ではないかと考える。またはサ高住や住宅型有料等でも利用できるような柔軟な対応もこれからは考えていく必要がある。国も地域丸ごとケアをすすめています。福生独自の対応、都への働きかけにも期待したい。</p>	<p>【障害福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援課の相談で特に多かった内容ですが、児童虐待・養育困難等の養護相談が12,818件と最も多く、次いで性格行動・不登校等の育成相談が736件となっております。 ・障害児入浴サービス及び保育所等訪問支援につきましては、必要となった際に利用できるよう予算の確保に努めてまいります。 ・日中一時支援につきましては、3事業所と覚書を交わして利用できる体制をとっております。 ・医療的ケアを要する重度心身障害者が利用できるグループホームにつきましては、ニーズ等の慎重な見極めや広域的な視点などが必要となりますので、国や都の動向、他市の状況を注視してまいります。

議題(4)福生市介護保険事業計画<第7期>進捗状況	市の回答
<p>まだ何とも言い難いです。</p>	
<p>議題説明4(2頁)認知症者割合の中に「家族支援などについてもお知らせしています」とありますが、家族側からどのような反応があったのでしょうか。</p>	<p>【介護福祉課】 ケアパスには認知症の経過に応じたサービスや、受診のポイントが記載されており、分かりやすいという感想をいただいております。これを見て福生クリニックに受診したという方もいらっしゃいました。福生市では家族介護者教室や認知症家族の会、オレンジカフェなど、家族同士が情報交換できるような場も増えてきており、そうした交流の場を積極的に活用していただけるよう紹介していきたいと思っております。</p>
<p>介護サービス利用増加に伴い、今後介護保険料はアップするのでしょうか？</p>	<p>【介護福祉課】 第1号被保険者の介護保険料額は、3年度を1期として策定する介護保険事業計画において、当該計画期間における被保険者数や介護給付費の見込量等を算定して保険料基準額を決定し、被保険者の所得に応じた保険料率を設定しています。 高齢化の急速な進行により、1人当たりの介護サービス量が増加する75歳以上の後期高齢者人口の増加、生産年齢人口の減少により、介護保険料は上がることが予想されます。 必要なサービスを提供しつつ、負担の増え方を少しでもゆるやかにするには、元気な高齢者が増え、介護にかかる費用を抑制していくことが必要となります。 第8期介護保険事業計画では、地域包括ケアシステムの構築を推進し、介護サービス量の適正な見込みと、各年度の剰余金を管理するために設置された介護給付費準備基金からの適正な繰入れを行うことで、保険料の急激な上昇を抑制いたします。</p>
<p>自身高齢者ですが、日常生活は今までと変化なく、多少物忘れがありますが、あと10年先のことと、介護サービス、介護保険事業、介護施設などの冊子には真剣に向き合っていませんでした。今回の資料を拝読しまして、肝要を実感しています。</p>	<p>【介護福祉課】 介護保険制度は平成12年4月に創設され、令和2年度で21年目となり、高齢者の生活を支える制度として無くてはならないものとして定着、発展しています。 今後も、高齢者に関する市の取組を高齢者のみならず多世代の方に理解していただくため、周知に努めてまいります。</p>
<p>特に進捗状況については意見ありません。議題(3)と同様ですが、コロナ禍にてどのような御苦勞があるのか、何かの機会に聞いてみたいと思っています。</p>	<p>【介護福祉課】 新型コロナウイルス感染症対策については、計画とは別に感染状況を見ながら進めてまいります。</p>

議題(4)福生市介護保険事業計画<第7期>進捗状況	市の回答
<p>サービス受給者数は増加傾向にあっても、人材不足による受け皿不足がこれからも問題になっていきます。各家庭が抱える問題も高齢分野だけにとどまらず多岐にわたり、介護分野だけの対応は困難となっています。さらなる相談体制の強化をお願いします。</p>	<p>【介護福祉課】 国は、地域住民の抱える課題が複雑化・複合化していることに対し、地域包括支援センターと他機関との連携強化や既存の相談支援等を活かしつつ、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築が望ましいとしています。 市の今後の方向性としては、地域包括支援センターの体制の見直しを視野に入れ相談体制の強化を検討しています。</p>

5 次期計画に向けた現状と課題、施策の体系ほか	市の回答
<p>これまでの計画の進捗状況と今後の課題については、資料5以降に良くまとめられています。高齢化や障害形態の進行に合わせて、福祉計画を分析、計画するのは困難な作業です。行政単独ではできない事なので、基本目標にある「地域生活を支える担い手づくり」をどう政策化して、市と市民の協働作業として進めていくかが重要です。今回の課題のまとめが各委員から出される意見と併せてどう修正しまとめられるか楽しみです。</p>	<p>【社会福祉課】 委員各位の貴重な御意見を次期計画に反映できるよう努めてまいります。 【介護福祉課】 市では、福祉活動専門員補助金等を通して地域の福祉活動を育てる人材の支援しており、地域の身近なところで取り組んでおられる市民の皆様の活躍に期待しています。</p>
<p>項目3(資料5-3)に関連して 資料の内のサービスのカテゴリ別の実績について。 居住系サービスや日中活動系サービスでは、それぞれサービスごとの数値が触れられていましたが、訪問系はひとまとめとなっていました。 種別によっては、取り組みの成果として、資料3-2で垣間見れましたが、訪問系についても、サービス種別ごと(行動援護〇〇件、身体介護付き移動支援▽▽件)に数値が見れると更に宜しいかと思えます。</p>	<p>【障害福祉課】 訪問系サービスにつきましては、国の指針や報告様式においてひとまとめになっているため、そのような記載になっておりますが、内訳としてサービス種別ごとに数値を記載することも検討させていただきます。</p>
<p>新しい生活様式を取り入れながら、施策を進めていただきたいと思えます。</p>	<p>【社会福祉課・障害福祉課】 御意見のとおり、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を取り入れ、施策及び事業を実施してまいります。 【介護福祉課】 新型コロナウイルス感染症対策については、計画とは別に感染状況を見ながら進めてまいります。</p>
<p>(資料5-3関連) ・日中系活動サービス等において、各事業所間の連携が取れていないようです。 ・自立支援協議会・相談支援事業・行政・各事業所等の連携に力を入れ、情報交換を行い、地域において必要な資源が何か、新たに構築すべき資源は何かを検討する必要があると思えます。 ・次期計画案の現状と課題の中で、令和元年度の実績値からもわかりますが、日中活動系サービスの就労継続支援B型、短期入所や生活介護は計画値を上回っていますし、計画相談支援も同様です。 現場で不足していると思われるものは、数字の上でも明らかになっています。 今後、計画を策定する上で、当事者や家族の意見も当然必要ですが、現場で支援を行っている事業所の意見をもっと吸い上げていただきたいと思えます。 障害福祉計画・障害児福祉計画において、いまだ未設置・未整備となっている項目について、早急に実施・検討をお願いします。</p>	<p>【障害福祉課】 ・日中活動系サービスの各事業所間連携は、福生市障害者福祉サービス指定事業所連絡会の日中活動系サービス部会において連携が図られているものと思っておりますが、各事業所間における更なる連携に努めていただけたらと思えます。 ・障害福祉計画等の策定には福生市地域自立支援協議会からも御意見をいただいております。また、福生市地域自立支援協議会の委員は、福生市障害者福祉サービス指定事業所連絡会の各部会から選出させていただいておりますので、委員を通じて事業所の現状や御意見を吸い上げております。 ・成果目標の中で未設置となっている項目につきましては、26市の状況など情報収集に努めるとともに、福生市地域自立支援協議会において引き続き検討してまいります。なお、現状は多くの市が福生市と同様の状況であり、国の考えと市町村レベルの現状にはギャップがあるようにも思っておりますので、国や東京都に対し要望等に努めます。</p>

5 次期計画に向けた現状と課題、施策の体系ほか	市の回答
<p>町会・自治会や地域を構成する活動組織が連携し合うことは、生活を支え合う上で大切ですが、実際にはあまり深い連携がありません。具体的な連携強化の方策を示したい。</p>	<p>【社会福祉課・協働推進課】 現状、地域活動支援講座の開催や町会長協議会の会議において、町会・自治会と地域活動団体の連携を支援をしています。地域の課題解決に向けて各組織の連携は重要だと認識しており、さらなる連携強化については今後の検討課題となります。また、各町会・自治会への加入率が低いことも課題となっています。</p>
<p>前回の書面委員会の市の回答でも記載されていましたが、コロナに関しては、ワクチンや治療薬の開発が進み、インフルエンザのような対応ができるのが最良だと思っていますし、このウイルス変異が多いようですし、無症状での感染が結構多いことも特徴だと思っています。どうも長く我々が苦しめられる気がしてなりません。特に高齢者の生きがいを持って社会参加する仕組み作りでは、当面の間(多分数年)は感染予防と社会参加は相反することになります。何かアイデアを考えて、完璧とは言えないまでも、少しでも良い方向を検討すべきだと思っています。</p>	<p>【社会福祉課・障害福祉課】 ※議題(1)と同じ 感染症対策と経済活動を両立させるwithコロナの困難な局面にあると言えます。現在は福生市新型コロナウイルスによる感染症に対する対策方針に則り、施策や事業を実施しており、今後も積極的に発信し、見える化に努めていきます。 【介護福祉課】 三密を避けた「新しい生活様式」による活動の一つとして「ふくふく福生体操」を周知しております。また、老人福祉センターも6月から人数の制限を行って再開し、サークル活動も感染予防に配慮しながら再開しております。 新型コロナウイルス感染症対策については、計画とは別に感染状況を見ながら進めてまいります。</p>
<p>資料5-1(5頁)4次期計画にむけた課題の(1. 顔の見える関係づくりと健康づくりの推進)中の文章がきつと地域福祉の根っことなるもので、この文をきちんと表記してくれていることがうれしい。たくさんの制度や支援体制があっても、人からの関心や思いがないと街は生きていけないはずで。他市のことはあまり知らないが、福生市は温かい人情味あふれる風土が強みなので、地域レベルでの市民啓発(地域医療含む)を体系化して意識変化やコミュニティの形成などにつなげていけると、議論され維持されている事業ももっと効果的に活用できるのではないかと。</p>	<p>【社会福祉課】 御意見のとおり、次期計画に向けて引き続き「顔の見える関係づくりと健康づくりの推進」に努めてまいります。 一人ひとりが安心して地域で暮らしていくためには、市民同士が知り合うことが大切です。また、知り合うことでちょっとした困りごとを、相談したり、助け合える関係となる土壌となります。 多くの人が地域で助け合える関係になるためには、まずは一人ひとりが周囲を気にかけて、見守り、気づき、声をかけ合うことが大切です。気になった人がいたときには、声をかけたり、支援先を案内したりすることができるような、意識を持った担い手を増やしていく必要があります。 【介護福祉課】 福生市高齢者・障害者生活実態調査報告書(P.36)でも結果として出ていますがサークル等に行いたいのが主催者にはなりたくないという方が多い状況です。市民活動等の活性化が必要であり、市では、福祉活動専門員補助金等を通して地域の福祉活動を育てる人材の支援しており、身近な地域の中での市民の皆様の活躍に期待しています。</p>

5 次期計画に向けた現状と課題、施策の体系ほか	市の回答
<p>コロナ禍の中、平常時とは異なる支援策が必要になるのではと考えます。各部署に寄せられている相談や困りごとに対して柔軟に対応できるように、予算配分や計画策定に反映していただきたいと思ひます。</p>	<p>【社会福祉課・障害福祉課】 御意見のとおり、平常時とは異なる支援策が必要になっており、相談や困りごとに対して柔軟に対応できるよう努めてまいります。</p> <p>【介護福祉課】 新型コロナウイルス感染症対策については、計画とは別に感染状況を見ながら進めてまいります。</p>

6 その他	市の回答
<p>今後のコロナの進み具合がどうなるか不明ですが、高齢者や障害者、子ども達にも影響が大きいと思いますが、今後の数年にわたる計画にどう反映させるのかはまだ情報不足ですので、計画に反映させる必要がある場合はその都度の論議で良いのではと思います。</p>	<p>【社会福祉課・障害福祉課・介護福祉課】 状況を見ながら判断していきます。</p>
<p>コロナ禍で書面による開催となっている委員会ですが、リモート開催の環境を整えるなどして実施できないものかと感じます。(コロナ禍より以前より出来ていたともいえますが)</p>	<p>【社会福祉課】 御意見をいただきましたとおり、本来ならば一堂に会する委員会を開催し“双方向での意見を交わす機会”を設けたいところです。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症等のリスクを回避するためにも、感染症がまん延している間は書面開催せざるを得ない状況にあります。 委員各位の家庭のPC等のネットワーク環境もそれぞれ異なるため、リモート(オンライン)での地域福祉推進委員会の実施は議題にもより検討いたしますが、その環境や人数などの心配もございます。 なお、感染者が減少し、安全が見込まれる状況になりましたら、感染防止対策を行い、会議を開催いたします。</p>
<p>資料ありがとうございました。</p>	
<p>いつも分かりやすい資料作成、ありがとうございます。</p>	
<p>・福祉教育の充実で 2年前まで小学校にて、車イス、自助具の体験授業を行ってきました。子どもたちは遊び感覚ではしゃいでいましたが、道路、段差、道幅の狭い場所などで困っていたら声かけ、手助けなどを学びました。コロナで授業時間が今後ひっ迫してきますので、体験授業も困難になることと思います。家庭生活の中で「弱者に力」を学んでほしいです。今後も子どもたちの意識高揚のプロセスが大事で、継続できたら良いと思います。 ボランティアも高齢化してチカラ仕事も大変になっていますが、授業でも「思いやり」の教育が進められていることに安心しました。</p>	<p>【社会福祉課・教育指導課】 今般の状況下では、学校教育における授業時間数の確保は大きな問題であり、先行き不透明ではありません。 しかしながら、地域福祉計画に掲載のとおり、引き続き、東京都教育委員会『人権教育プログラム』に基づき、総合的な学習の時間や特別活動における体験学習や障害のある人との交流学习、高齢者などから学ぶ地域文化の伝承学習などを通して福祉教育の充実に努めます。</p>

6 その他	市の回答
<p>令和2年度第1回福生市地域福祉推進委員会「質問・意見書」記載内容と市の回答について、資料作成ありがとうございました。委員のみなさんの意見が解りとても良かったです。このような資料があれば、リモートでも良いと思います。資料の作成等、御苦勞もあるかと思いますが、このような資料は次回もよろしく願います。</p> <p>また、事業所へのマスク配布など種々対応していただきありがとうございます。また10万円の支援金についても、福生市は大変早い対応をしていただき、重ねてありがとうございました。</p> <p>一方、8月5日時点で、福生市の感染者は15名、第1回の書面委員会の時点(確か1～2名)と比較して、かなり感染者が増えている印象です。私自身は自粛生活を継続しており、会食や集まりを遠慮しております。1市民として、怖い日々を過ごしております。</p> <p>感染が広がれば、社会全体として、社会を支える意味でも、国民、市民一人一人が、感染者、非感染者もある程度、金銭面、労働力の面でも負担をしていくことが必要かと思っています。例えば、エール飯の拡充を行い「コロナエール飯」とし、ホテル療養(軽症者)、自宅療養(軽症者)、自宅自粛者が、少々金銭を負担してエール飯を配達してもらい、コロナ失職者が、前述の飯の配達をする、ニューヨークのようにトレーサーとして働くなどです。</p>	<p>【社会福祉課】 御意見のとおり、委員会が書面開催の場合には、引き続き質問・意見書の記載内容と市の回答を作成し、意見や情報の共有に努めます。</p> <p>【介護福祉課・障害福祉課】 状況を見ながら、必要な対策を実施いたします。</p>
<p>高齢者だけにとどまらず、住居に対する支援が一個人では対応しきれなくなっています。包括と地域ケアマネで対応してきたことを、法人として支援してくれる住宅確保要配慮者居住支援法人が福生市にもできました。市との協力体制についてお聞きしたいです。</p>	<p>【社会福祉課・介護福祉課・まちづくり計画課】 福生市内の介護保険事業者が令和2年7月に住宅確保要配慮者居住支援法人に指定されました。協力体制は未定であり、今後の課題であると認識しています。</p>
<p>・オンラインを含め、集まれる機会があった方が良いと思います。 ・評価に対して実施のみ数値化していますが、質的な評価に対する取組はあるのでしょうか？</p>	<p>【社会福祉課・障害福祉課】 ・会議開催は検討いたします。 ・事業評価については、現行の計画において、分かりやすさと見える化を重視し、数値化するという定量評価を基本としております。数値化だけでは説明が難しい評価内容に対して質的な評価(定性評価)を導入することは今後の課題でもあり、次期計画に反映できるか検討してまいります。</p> <p>【介護福祉課】 介護保険事業計画は介護保険の認定や給付の状況から保険料まで含めて策定しております。質的な評価は第三者評価や、実施した実態調査での御意見は参考となります。</p>